

協賛
兵庫銀行文化振興財団

Japan Young Artist Chamber Music Society



ジャクムス YACMS '94春 CONCERT

究極の室内楽！
世界に翔く
若きアーティスト
が篠山に結集。

マーラー MAHLER;
Fragment of a Piano Quartet a minor
ピアノ四重奏曲・断章イ短調

迫 昭嘉 (Pn) 深山尚久 (Vn) 川本嘉子 (Va) 田中雅弘 (Vc)

ドヴォルジャーク DVOŘÁK;
String Quintet No.2 G Major op.77

弦楽五重奏曲第2番ト長調 op.77

漆原啓子 (Vn1) 深山尚久 (Vn2) 豊嶋泰嗣 (Va) 田中雅弘 (Vc) 吉田 秀 (Cb)

シューベルト SCHUBERT;
Quintet A Major "Die Forelle" op.114, D.667

五重奏曲イ長調「ます」op.114, D.667

迫 昭嘉 (Pn) 景山誠治 (Vn) 川本嘉子 (Va) 上村 昇 (Vc) 吉田 秀 (Cb)

Violin
漆原 啓子
Urushihara Keiko



ヴェニエアフスキ国際コンクール第1位優勝（日本人初）、N響協演、'94年6月サントペテルブルク交響楽団と協演。

Violin
景山 誠治
Kageyama Seiji



ロン・ティボー国際コンクールで最高位優勝、N響・大フィル各地の楽団と協演。

Violin
深山 尚久
Miyama Naohisa



新星日響・札幌交響楽団のコンサートマスターを歴任、広島・神奈川フィルのソロ・コンサート・マスターとして活躍中。

Viola
豊嶋 泰嗣
Toyoshima Yasushi



新日本フィルのコンサートマスターをはじめ、朝比奈隆指揮ベルリン放送交響楽団と協演。出音音楽賞を受賞。

Piano
迫 昭嘉
Sako Akiyoshi



ジュネーブ国際コンクールで1位なしの第2位最高位入賞、スペイン・ハエン国際コンクールで優勝。

Viola
川本 嘉子
Kawamoto Yoshiko



ジュネーブ国際コンクール、ヴィオラ部門最高位入賞。東京都交響楽団との定演でコンチェルトデビュー。

'94
4/14(木)

午後7時開演
たんば田園交響ホール

前 売：一般 4,000円
(全席指定) 学生 1,500円

ジャクムス交流会

公演後出演者を囲んで楽しい
交歓会をしませんか。
参加費1,000円(ドリンク付)

プレイガイド (篠山町内) 書店・楽器店
(多紀郡内) 各町公民館・リプロ・
JAたんば・NEWS丹南
(氷上郡) 春日町文化ホール・柏原観光案内所
(三田市) ニチイ三田店サービスコーナー

主催/篠山町
☎(0795)52-3600

Violoncello
上村 昇
Kamimura Noboru



カサド国際チェロコンクール優勝、N響・チェコフィル・プラハ交響楽団と協演。

Violoncello
田中 雅弘
Tanaka Masahiro



カサド国際コンクール3位・チャイコフスキー国際コンクール入賞、N響・東京都交響楽団との協奏曲協演等多彩に活躍中。

Contrabass
吉田 秀
Yoshida Shu



木曾福島国際音楽祭・霧島国際音楽祭・八ヶ岳高原音楽祭など各地の音楽祭に参加、NHK交響楽団で活躍中。

Violin

漆原啓子 Urushihara Keiko

1978年日本音楽コンクール第3位入賞、翌年海外派遣コンクールで松下賞を受賞。81年ヴィエニャフスキ国際コンクールで日本人として初めて第1位優勝、あわせて6つの副賞も獲得。83年若い芽のコンサートでN響と初協演。85年からピアノ・トリオの活動を始める。86年には、ハレー・ストリング・クワルテットとして第21回民音コンクール室内楽部門で、優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。リサイタル、室内楽、国内外のオーケストラとの共演等で幅広く活躍、CD録音も5枚を数える。94年6月には、サントパテルブルク交響楽団と協演予定。

Violin

景山誠治 Kageyama Seiji

1977年日本音楽コンクール第3位。81年ヴィエニャフスキ国際コンクール第4位、84年のロン＝ティボー国際コンクールで1位なしの第2位（最高位）を獲得、同時に3つの特別賞を得る。87年、88年にはルツェルン祝祭弦楽合奏団のソリストに抜擢される。92年（旧東）ベルリンにてコーミッシュ・オパーと協演。またミュンヘン、ライプツィヒでリサイタルを行い絶賛を博した。国内でもN響、大阪フィル他各地の楽団と協演し高く評価されている。現在、東京音楽大学助教授、東京芸術大学講師。

Violin

深山尚久 Miyama Naohisa

東京芸術大学在学中に東京フィルのコンサートマスターに抜擢される。1984年9月より1年間、文化庁海外芸術家派遣研修員としてドイツへ留学。86年より新星日響のコンサートマスター、88年より札幌交響楽団の首席コンサートマスターを歴任。90年4月、東京・札幌でリサイタルを開催、以来各地でリサイタル、協奏曲、放送等幅広く活躍。92年4月札幌を離れ、6月より広島交響楽団の首席客演ソロ・コンサートマスターや神奈川フィルのソロ・コンサートマスターとして活躍中。

さあ、今年も春の風とともにジャクムスのハーモニーが幕を開けます。プログラムは、珍しいマーラーの『ピアノ四重奏曲の断章』。大曲で有名なマーラーが、一体どんな室内楽を書いていたのでしょうか。しかもこの曲は、マーラーがコンクールのためにロシアに送った曲の断片だというエピソード付きです。

ドヴォルジャークでは、5本の糸が織りなすしっとりとした弦の世界が繰り広げられます。そしてシューベルトのつややかな音の流れはジャクムスの独壇場。「ます」の決定版をお届け致します。

驚くべき顔合せ！

あくまでも理想を追究する、全く新しいアンサンブル、日本が生んだ宝！

Viola

豊嶋泰嗣 Toyoshima Yasushi

1986年新日本フィルのコンサートマスターに就任、またハレー・ストリング・クワルテットで民音室内楽コンクール1位と斎藤秀雄賞を受賞。88年デビュー・リサイタル、新日本フィルと協演。89年ニューヨーク、リンカーン・センター室内楽ソサエティ結成20周年記念ツアーに参加。9月ベルリン・フェスティバルに招かれ、朝比奈隆指揮ベルリン放送交響楽団と協演。91年村松賞及び第1回出光音楽賞を受賞。自ら企画した新日フィルとの演奏会『ヴァイオリニストである前に』で文化庁芸術選奨平成3年度文部大臣新人賞を受賞。92年、初ソロCDをリリース。オケを離れソリストの王道を歩み始めた。

Viola

川本嘉子 Kawamoto Yoshiko

桐朋女子高等学校(音楽科)を経て、桐朋学園大学に進む。在学中、学校主催の室内楽演奏会に多数出演。コンチェルト・ソリストとして桐朋学園オーケストラと共演。1989年、第6回東京国際音楽コンクール室内楽部門にて、Y(イグレック)・カルテットで優勝。併せてアサヒビール賞、斎藤秀雄賞を受賞。1989年、1990年タングルウッド音楽祭に招待を受け参加。Grace・B・Jackson賞を受賞。1991年、東京都交響楽団に入団をきっかけに、ヴィオラに転向。1992年、ジュネーブ国際コンクールヴィオラ部門にて2位(1位なし)に入賞。1993年4月東京都交響楽団の定期演奏会にてコンチェルトデビューを果たす。

ジャパン・ヤング・アーティスト・チェンバーミュージック・ソサエティ

この組織は「21世紀の日本のクラシック音楽がより創造的なものとなるための基盤作り」を目指して、今回出演する演奏家が中心となり結成されたものです。

1. 演奏家自らがプロデュースし、自分達の創造力を十分に発揮できるコンサートを継続的に開催する。
2. 常に若手演奏家に門戸を開き、チャレンジ精神のある演奏家と合同演奏を行うなど、次の世代の育成につながる活動に重点をおく。
3. 演奏会の収益金はプールし、将来的には若手演奏家の活動の支援を行う。

Contrabass

吉田 秀 Yoshida Shu

1986年東京芸術大学音楽学部を卒業。在学中芸大オーケストラ、東京ユースシンフォニーオーケストラと共演。木曾福島国際音楽祭、霧島国際音楽祭、八ヶ岳高原音楽祭など各地の音楽祭に参加。1988年大阪、東京でリサイタルを開催し好評を博す。東京芸術大学管弦楽研究部首席コントラバス奏者を経て、現在NHK交響楽団に在籍。東京ヴィヴァルディ合奏団、アール・レスピランのメンバーとしても活動。室内楽では、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ヤン・パネンカ、ギュンター・ピヒラー、提 剛らと共演。1993年より東京音楽大学非常勤講師を務める。

Violoncello

上村 昇 Kamimura Noboru

1976年文化放送音楽賞を受賞、翌年日本音楽コンクール第1位、海外派遣コンクール、松下賞、京都市芸術新人賞を受賞。79年、第6回カサド国際チェロ・コンクールに優勝し、世界的に注目される。同年秋ジュネーブでフルニエに師事する傍ら、イタリア、フランスの諸都市で活躍。80年帰国後もリサイタル、室内楽の他、N響をはじめ国内各オーケストラと、91年にはチェコ・フィルと協演。92年、CD「パッサ / 無伴奏チェロ組曲」をリリース。93年12月、ブラハ交響楽団と協演。

Violoncello

田中雅弘 Tanaka Masahiro

東京芸術大学在学中に安宅賞を受賞。1980年東京ブラームス・クワルテットで第1回霧島国際音楽祭賞、民音室内楽コンクール第2位、斎藤秀雄賞を受賞。日本音楽コンクール第2位となり読売新人演奏会に出演。86年ガスパール・カサド国際コンクール第3位。第13回若い芽のコンサートに出演、N響と協演。90年の第9回チャイコフスキー国際コンクール入賞。東京都響その他の交響楽団との協奏曲協演など、ソロ、室内楽等の各方面で多彩な活動を続けている。

Piano

迫 昭嘉 Sako Akiyoshi

1979年、日本音楽コンクールで第2位、80年、東京芸大大学院でクロイツァー賞、同年ジュネーブ国際コンクールで1位なしの第2位最高位入賞を遂げ脚光を浴びる。翌年ミュンヘン国立音大に留学。83年には、スペイン・ハエン国際コンクールで優勝。現在ミラノを中心に、ヨーロッパ各地、また国内でリサイタル、室内楽、オーケストラとの協演等、幅広く活躍。91年、初ソロCDをリリース。93年は、ブラハ響、スロヴァキアフィル等との協演の他、6月から2年間にわたって行うベートーヴェン・ソナタ連続演奏会も好評を博している。